

企画展

ドナルド・キーン先生と 昭和文壇史



—『声の残り』の世界 Act 1—

谷崎潤一郎・火野葦平・阿部知二・佐佐木信綱

令和7年6月18日(水)→7月17日(木)

午前10時→午後5時《休館日：毎月第2・第4月曜日》

会場：滝野川会館 北区西ヶ原1-23-3



【第1会場】1階 正面出入口脇スペース ～ドナルド・キーン先生とは～

【第2会場】3階 304集会室 ～ドナルド・キーン先生と『声の残り』～

●主催：東京都北区 ●協力：(一財)ドナルド・キーン記念財団

■問合せ：東京都北区地域振興部文化施策推進課 TEL03-5390-0093



観覧無料



ドナルド・キーン先生と昭和文壇史

—『声の残り』の世界 Act 1— 谷崎潤一郎・火野葦平・阿部知二・佐佐木信綱

ドナルド・キーン先生が96歳で逝去されてから、早くも6年の月日経ちました。

長いご生涯を日本文学・日本文化研究に捧げられたキーン先生は、1974年(昭和49年)11月に北区西ヶ原に住まいを定められて以来、その人生の半分近い歳月を北区の住人として過ごされ、この地から数多くの著作を世に送りだされました。

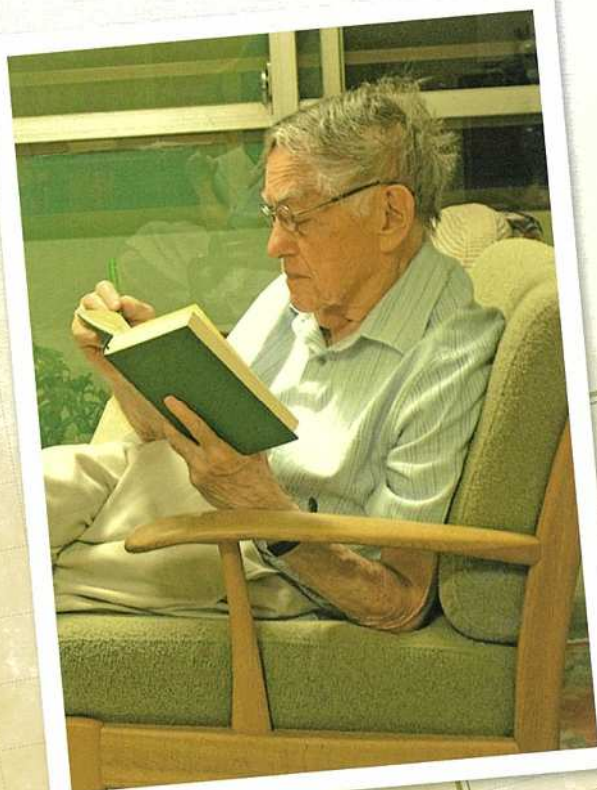
今回の企画展は、キーン先生が70歳を迎えた1992年(平成4年)年4月1日から「朝日新聞」に全57回にわたって掲載された『声の残り 私の日本文壇交友録』(同年12月に朝日出版社から『声の残り 私の文壇交遊録』と改題して刊行)を題材に、キーン先生が直接に出会った昭和文壇の作家たちとの親交のあとをご紹介します。

滝野川会館1階のスペースでは、イントロダクションとしてキーン先生のご生涯を紹介するパネル展示を用意いたしました。また3階の会場は、『声の残り』で紹介されている谷崎潤一郎、火野葦平、阿部知二、そして佐佐木信綱について、実物の新聞掲載記事や関係資料を展示いたしました。

展示実施に際し、一般社団法人ドナルド・キーン記念財団、そしてキーン誠己様から多大なるご理解とご協力をいただきました。ここに厚く御礼を申し上げます。

令和7年6月

東京都北区文化施策推進課



MAP

